

No.317
1997年
12月

OR学会だより

社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会
113 東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル3階
電話(03)3815-3351代 Fax(03)3815-3352

●平成10～11年度役員候補者推薦のお願い

定款にしたがって平成10, 11両年度の役員の選出を行ないます。スケジュールは次のとおりです。
平成10年1月31日(必着) 候補者推薦締切。 2月20日～3月20日 会員の書面による投票。
3月末日 開票(予定)。 4月下旬 総会において決定。
については、以下により候補者の推薦をお願いいたします。

(社)日本オペレーションズ・リサーチ学会 監事 矢島敬二・岡本行二

1. 役員(理事・監事)候補者については本人の同意を得たうえで、社員(正会員または名誉会員)5名以上が候補者の略歴をつけて推薦する(次の書式に従ってください)。
2. 候補者は社員でなければならない。
3. 理事は会務の分担ごとに出挙するので、分担を明示すること。今回選出する理事の会務分担および定数は次のとおりとする。副会長1名 庶務1名 会計1名 研究普及1名 編集1名 無任所3名(うち支部所属者1名)
4. 監事の改選数は 1名

..... 切 り と り 線

平成 年 月 日

役員候補者推薦届

(社)日本オペレーションズ・リサーチ学会選挙管理委員会殿

平成10～11年度日本オペレーションズ・リサーチ学会の役員

- 副会長 庶務理事 会計理事 研究普及理事 編集理事 無任所理事
監事として

_____ 氏を推薦致します。

推薦者(正会員および名誉会員5名以上)

(代表者) 氏名 _____ ㊞ (所属: _____)

_____ ㊞ _____ ㊞ _____ ㊞
 _____ ㊞ _____ ㊞ _____ ㊞

候補者略歴(18字×6行以内)

上記の推薦に同意します。

氏名 _____ ㊞ (所属: _____)

●日本OR学会各賞候補ご推薦のお願い

本学会では、毎年 OR 学会文献賞、実施賞、普及賞、事例研究奨励賞、学生論文賞を贈り、それぞれの分野で顕著な仕事をされた個人や企業を表彰しております。今年度の受賞候補者のご推薦を募ります。締切は学生論文賞・事例研究奨励賞ソフトウェア部門を除き、平成10年1月31日といたしますので、それに間に合うよう、学会所定の用紙をお早めに事務局宛にご請求ください。なお、5賞の概要は次のとおりです。

〔文献賞〕大西記念文献賞に引き続いて設けられた本会で最も歴史のある賞です。次の条件を満たす論文の著者をご推薦ください。

- 1) 論文は独創性と将来性に富み、ORの発展に寄与するものであること。
- 2) 論文はOR学会発行の論文誌またはこれに相当する権威ある雑誌、論文集にその年(9年の1月1日より12月末日までに発行されたものをいう)に発表された論文であること。
- 3) 被推薦者はOR学会員で、年齢は原則として40歳以下であること。

なお、論文の著者が複数以上あるときには、主としてその論文の作成にあたった者をもって代表とし、被推薦者とします。

〔実施賞〕ORの実施を強く推薦してきた個人、グループまたは企業等に贈られます。従来は、東亜燃料工業(株)、(株)日立製作所、中部電力(株)、兵庫県、中国電力(株)、(株)電力中央研究所、住友金属工業(株)、三菱石油(株)、川崎製鉄(株)、(株)東芝、日本電気(株)、田辺製薬(株)、(株)日通総合研究所、(株)構造計画研究所、松下電工(株)、(株)安川電機、東京ガス(株)、NTT研究開発本部、秩父小野田(株)等の企業が主な受賞者でした。

〔普及賞〕ORの普及に大きな貢献をした個人、グループまたは企業等に贈られます。従来は、森村英典、後藤正夫、森口繁一、横山保、河田龍夫、小林宏治、国澤清典、西野吉次、三根久、松田武彦、近藤次郎、西田俊夫、梅沢豊、齋藤嘉博、唐津一、藤森謙一、三上操、小田部斎、原野秀永、千住鎮雄、依田浩、刀根薫、松富武雄、児玉正憲、長谷川利治、御園生善尚、矢部眞、本告光男、渡辺浩の各氏および新日本製鐵(株)、(株)富士銀行、日科技連グループ、日本IBM(株)、NTT、旧国鉄の各企業が受賞者でした。

〔事例研究奨励賞〕すぐれた事例研究に対して贈られます。個人に限らず、グループや企業も対象になりま

す。ただし、その研究は、学会誌等、本学会において発表されたものに限ります。なお、ソフトウェア部門は11月28日に締切りました。

〔学生論文賞〕学生による優れたORに関する研究に対して贈られるものですが、来春提出される学部の卒業論文、または大学院の修士論文が対象となります。応募締切は平成10年3月31日といたしますが、詳しい募集要領は、OR誌2月号に掲載します。(表彰委員会)

●平成10年度春季研究発表会

日程：平成10年5月27日(水)～28日(木) 研究発表会 29日(金)見学会(計画中) 5月27日(水)懇親会場 場所：仙台市青年文化センター(仙台市青葉区旭ヶ丘3丁目27-5)

特別テーマ：「身のまわりのORとOR教育」

平成10年度春季研究発表会は、仙台市青年文化センターを会場に開催いたします。会場は仙台駅から地下鉄で約10分、台の原森林公園に隣接した大変自然豊かな環境に恵まれた所です。

さて、このたび我がOR学会もめでたく創立40周年を経て、ますますの発展が期待されております。そこで今回の研究発表会では、OR活動のさらなる普及・発展を願い、特別テーマを「身のまわりのORとOR教育」と設定しました。身近な話題や研究ならびに教育体験等を題材に、これからのORについて活発に議論したいと思っております。

会場の都合等により、今回新しい試みとして、研究発表の約半数をペーパーフェア形式の研究発表とすることにいたしました。そして従来のようにペーパーフェア研究発表だけの時間帯を設けるのではなく、2つのセッション(場合によっては3つのセッション)をペーパーフェア形式による研究発表として、一般研究発表と並行して同時進行させます。つまり「セッション丸ごとペーパーフェア」です。このペーパーフェア研究発表会場には、会員談話室を兼ねた、広い交流ホールを用意しました。お茶を片手にブースをひとつひとつ聞くこともできるし、研究発表を話題にじっくり議論もできます。多数の参加、研究発表を楽しみにしております。(どのセッションをペーパーフェア研究発表形式にするかは、プログラム作成時に決定いたします。発表者の方には確定次第ご連絡いたします。)

実行委員長：松田泰(東北支部長、東北電力)

参加費：正・賛助会員6,000円、学生会員2,000円、非

会員10,000円

登壇料：非会員のみ2,000円/件(本学会の許可が必要)

特別講演：5月27日(水)、28日(木)(計画中)

懇親会：5月27日(水) 18時(予定)より 参加費
6,000円

見学会：5月29日(金) (計画中)

発表形式：(A)特別テーマ発表 (B)一般発表 (C)
部会報告 (D)ソフトウェア発表

(A)、(B)、(C)ともアブストラクトは、1件2頁とし、申し込まれた研究発表は、セッションを中心に整理しプログラムを作成いたします。したがって申し込みの発表が「講演形式」か「ペーパーフェア形式」かは、プログラム作成時に決定いたします。発表申し込みには確定次第(2月初旬頃)ご連絡いたします。なおOHP以外、ソフトウェア発表等で必要な機材は各自で調達お願いいたします。その際実行委員会(下記問合せ先)へ事前登録の連絡をお願いします。

発表申し込み締切日：1月30日(金) 消印有効(期限厳守)

発表申し込み用紙等請求先：〒113 文京区弥生2-4-16 学会センタービル3F 日本OR学会事務局
Tel. 03(3815)3351 Fax. 03(3815)3352

発表申し込み書送付先：〒980-77 仙台市青葉区川内
東北大学経済学部 安田一彦

★★今回に限り従来の申込書は使用しないでください。
問合せ先：

★〒980-77 仙台市青葉区川内
東北大学経済学部 安田一彦(プログラム委員)
Fax. 022(217)6321 Tel. 022(217)6296
E-mail: yasuda@econ.tohoku.ac.jp

★〒020 盛岡市上田3-18-34
岩手大学人文社会科学部 石川明彦(実行副委員長)
Fax. 019(621)6810 Tel. 019(621)6806
E-mail: ishiaki@msv.cc.iwate-u.ac.jp

●平成10年度秋季研究発表会

日程：平成10年10月15日(木)～16日(金)

場所：日本大学会館

〒102 千代田区九段南4-8-24
(市ヶ谷駅から徒歩3分)

実行委員長：高橋磐郎(日本大学生産工学部)

実行副委員長：大沢慶吉(日本大学生産工学部)

●平成9年度第1回ORセミナー

「多変量解析の基礎と応用」

セミナーのねらいと参加のおすすめ

不確定要素を含んだ現実のデータから、真の因果関係を抽出する方法が多変量解析と呼ばれる方法である。最近では、データをもとにした計画立案の手法として多変量解析が定着しつつある。本セミナーでは、多変量解析の基礎を解説するとともに、昨今のパソコンの高速化とともに発展してきた最新のパソコンソフトを紹介し、コンピュータとの対話形式での解析法を中心としてその応用について解説する。

日時：1997年12月11日(木) 9:30～17:00

会場：東京ガス(株) 本社ビル13階1307会議室

(〒105 東京都港区海岸1-5-20 Tel.03-5400-7596)

(ただし緊急時のみ)

(JR浜松町駅南口下車徒歩5分 地下鉄都営浅草線大門駅下車徒歩10分)

オーガナイザー・講師：芳賀敏郎(東京理科大学 非常勤教授)

プログラム：

「データ解析の基礎」

「主成分分析」

「回帰分析の基礎」

「回帰分析の応用」

「ロジスティック回帰分析」

「多段階別分析(AID)」

参加費：正・賛助会員25,000円、学生会員5,000円、非会員30,000円(協賛学協会の会員は正会員に同じ)

申し込み方法：11月号とじ込みをご利用いただくか、OR学会事務局に参加申込書をご請求ください。

Tel.03(3815)3351 Fax.03(3815)3352

協賛(依頼中)：経営情報学会、計測自動制御学会、情報処理学会、電気学会、電子情報通信学会、土木学会、日本応用数理学会、日本機械学会、日本経営工学会、日本建築学会、日本統計学会、日本品質管理学会

●研究部会・グループ開催案内

〔高度情報化社会における交通・流通〕

・第31回

日時：12月5日(金) 18:00～20:00

場所：東洋経済新報社ビル(日本橋)

テーマと講師：今回は懇親会(会費6,000円)を兼ねて、これまでのまとめと今後の方針について自由討論をします。出席人数確認のため、事前に連絡をお

願います。

問合せ先：工学院大学 八戸英夫

Tel.03(3342)1221 内線2423

Fax.03(3340)0108

E-mail : at 79114@ns.kogakuin.ac.jp

〔イノベーション〕

・第19回

日 時：12月6日(土) 14：00～17：00

場 所：中央区新富1-13-14 Tel. 03(3352)9131
ワーカーズ・サポートセンター
(旧東京都勤労福祉会館) 603室

テーマと講師：「21世紀のためのイノベーション」
上田亀之助

問合せ先：上田亀之助 Tel. 03(3351)4023

〒160 新宿区若葉1-19-13

〔環境問題〕

日 時：12月11日(木) 15：00～17：00

場 所：東京ガス(株)本社13階1303会議室
東京都港区海岸1-5-20
JR浜松町駅南口(モノレール側)改札口を
出て左方すぐ

テーマと講師：「市場を通しての環境誘導政策」
(GPN)

佐藤博之(グリーン購入ネットワーク事務局)

参加費：無料(研究会員募集中)

申込先：キックス総研(株) 小池 清

Tel. 03(3769)2260 Fax. 03(3769)2260

〔評価のOR〕

・第6回

日 時：12月13日(土) 14：30～18：00

場 所：成蹊大学資料館(吉祥寺駅下車, バス成蹊学
園前下車, 正門を入れて右側, 守衛所のすぐ先, 吉
祥寺駅より徒歩20分), 大会議室

テーマと講師：

- (1)「都道府県の政策評価」 高岩靖典(日本大学)
- (2)「日米電気事業における生産およびコスト効率性の計測」 北村美香, 筒井美樹(電力中央研究所)
- (3)「A slacks based measure of efficiency in DEA」
刀根 薫(埼玉大学)

終了後, 吉祥寺にて忘年会を行いますので, はじめ
の方もぜひご参加ください。

問合せ先：NTTマルチメディアネットワーク研究所
篠原 正明

Tel. 0442(59)2495 Fax. 0422(59)2829

E-mail : sinohara@hashi.tnl.ntt.co.jp

〔オープンネットワークと情報活用〕

日 時：12月18日(木) 18：00～20：30

場 所：NEC 本社ビル(JR 山の手線, 京浜東北線田
町駅, 都営浅草線, 都営三田線三田駅) 2階会議室
テーマと講師：「地方自治体における情報システム整
備の新局面—宇都宮市における情報化の考え方をめ
ぐって—」

1. はじめに—ネットワーク・LANの不在—
2. ハードウェア主導による基幹業務の電算型シス
テムの経緯
3. ソフトウェア普及による電卓型情報処理システ
ムの系譜
4. ハードウェアを整備した電卓型システム概念
5. データウェア確立によるネットワークシステム
整備
6. おわりに 山口直人(宇都宮市役所)

問合せ先：

東京工業大学工学部社会工学科 松井啓之

Tel.03(5734)3191 Fax.03(5734)3199

E-mail : hmatui@soc.titech.ac.jp

〔待ち行列〕

日 時：12月20日(土) 14：00～16：30

場 所：東京工業大学 本館1-94号室

テーマと講師(*は発表者)

- (1)「Exact Loss Probability Calculation with
Queue Length in the Corresponding Infinite-
Buffer Queue」

●平成10年度会費納入のお願い(事務局)

平成10年度の会費請求書をお送りいたしましたの
で, お早めにご送金くださるようお願いいたします。
なお, 9年度以前の会費を未納の方は合わせてお支
払いくださるよう重ねてお願いいたします。

〔預金口座振替ご利用の方へ〕

平成10年度会費振替は平成10年1月20日(火)にな
ります。振替金額の不足のないよう, 預金残高をご
確認いただければ幸いです。

なお, 平成10年度から預金口座振替をご希望の正
会員の方は, 学会事務局までTEL, FAX, 郵便にて
ご連絡ください。折り返し預金口座振替依頼書をお
送りいたします。

石崎文雄 (徳島大学), 滝根哲哉* (大阪大学)
 (2) 「Symmetric Queueing Networks with Interruption Singals」

M. Miyazawa* (Science Univ. of Tokyo), X. Chao(New Jersey Institute of Tech.), and I. Kino(NEC)

問合せ先: NTT マルチメディアネットワーク研究所
 小沢利久

Tel.0422(59)4593 Fax.0422(59)2829

E-mail: toshi@hashi.tnl.ntt.co.jp

●会合案内

〔第54回丸の内 OR 研究会〕

日 時: 1月14日(水) 18:30~21:00

場 所: 学士会館 (神田錦町3-28)

テーマ: 「新カードビジネスの展望」

講 師: 山川朝賢氏 (日本ポイントカード(株)代表取締役社長)

参加費: 丸の内 OR 研究会会員 (無料)

非会員(4,000円)当日受付でお支払いください。ただし、参加については1週間前までにお問い合わせください。

問合せ先: トーマツ・コンサルティング(株) 山本真士
 Tel.03(3457)6745

●国際会議案内

・Workshop on Intelligence Techniques in Operations Research (ISORA'98)

日 程: 1998年6月 (詳細未定)

場 所: ハルビン (中国)

主 催: 中国 OR 学会・Asian-Pacific OR Center

問合せ先: Prof. Yingjun FENG

Applied Mathematics Research Institute

Harbin Institute of Technology

Harbin, Heilongjiang, 150001, China

Fax: 86-451-6221048

アブストラクト提出期限: 1998年3月15日 (上記宛)

●公募案内

大阪大学大学院基礎工学研究科システム人間系専攻システム科学分野

募集人員: 助教授・講師または助手1名

所 属: システム基礎理論講座 (大講座)

専門分野: ますます大規模化・複雑化するシステムを

対象にしたトータルシステムズ・アプローチのためのシステム論を展開し、次のいずれかの応用分野に寄与するシステム方法論を研究開発する、意欲のある若手研究者を求めます。

◆生産システム分野

1) 生産システムのモデリングと計画・スケジューリング・制御

2) 製品のライフサイクルを考慮した Minimum Emission Manufacturing

◆社会経済システム分野

1) 環境経済政策に関する応用システム分析

2) 高齢社会の諸問題解決のための応用システム分析

応募資格: 助教授・講師候補者は博士の学位を持っている方

助手候補者は博士の学位を持っているか、または取得見込みの方

着任時期: 平成10年4月1日

提出書類: 履歴書(写真貼付), 論文リスト, 主要論文の要旨, その別刷り, 研究の抱負・研究計画 (A4用紙1~2枚程度), 推薦書または自薦書

応募締切り: 平成10年1月12日(月) 必着

問合せ先:

〒560 大阪府豊中市待兼山町1-3

大阪大学大学院基礎工学研究科

システム人間系専攻 システム科学分野主任

教授 西田正吾

Tel.06(850)6380

(不在の時は学科事務室(06-850-6385))

Fax.06(850)6341

E-mail: nishida@sys.es.osaka-u.ac.jp

●他学会案内

・第28回信頼性・保全性シンポジウム (協賛)

テーマ: 「コンカレント開発と信頼性」

主 催: (財)日本科学技術連盟

日 程: 平成10年7月9日(木), 10日(金)

場 所: JAビル (東京・大手町)

特別参加費: 5,250円 (報文発表者本人)

発表申込締切: 平成10年2月23日(要アブストラクト)

問合せ先: (財)日本科学技術連盟 R&MS 係

Tel.03(5379)1224 Fax.03(3225)1814

E-mail: XLA03104@niftyserve.or.jp